

資源回収に係る周知事項について

1 紙類（「ごみの出し方・資源の出し方」19 ページ）

次の4種類に分別する。

- ① 飲料用紙パック
- ② 雑誌（ひもで十文字に縛る）
- ③ 段ボール
- ④ 新聞紙

※シュレッダー屑については、透明または半透明のビニール袋に入れて、中身が飛び出さないよう口を縛って出す。なお、回収時にビニール袋が破損しないよう入れる量なども気を付ける。

2 衣類・布類（「ごみの出し方・資源の出し方」20 ページ）

雨に濡れるとカビの発生などにより、資源としてリサイクルができないため、基本的に降雨時や降雨が予想される日の資源回収は控え、次回の資源回収に出す。次回にすることが難しい場合は、濡れないようビニール袋に入れるなどの対応をして出す。（資源物として出されている段ボールなどを傘代わりとして蓋をするようなことはしない。）

3 ペットボトルのキャップ（「ごみの出し方・資源の出し方」21 ページ）

ペットボトルから外して不燃ごみとして出す。ペットボトルの回収袋にキャップを混ぜない。

4 回収袋（「ごみの出し方・資源の出し方」18 ページ）

空き缶などの回収に使用している回収袋には、中身が散乱しないよう8分目程度の量を入れてひもを結んで出す。

なお、ひもは蝶々結びとし、回収時にほどけないような硬結びにはしない。

5 その他

資源回収後の後出しと思われる案件が散見されます。後出しの資源については、基本的に次回の回収となり、それまでは各団体で保管等していただくことになりますので排出時間の周知徹底を図る。